

## 目標達成計画

作成日: 平成 25年 3月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	時々給食を止めて手作りご飯を実施しているが、月に2回程度と頻度が少ない為、利用者の家事仕事に対する意欲や自信が低下してしまっている。リハビリのためにも回数を多く実施したい。	手作りご飯の実施を週一回行えるようにする。また、利用者の残存機能に合わせて食事作りを利用者と一緒に行っていく。	①食事作りを女性職員だけに任せる事なく、男性職員も勉強し行っていく。②利用者の残存機能を再確認し、それに合わせたメニューを考える。	6ヶ月
2	36	利用者の排泄介助はプライバシーを考慮し行いう事が出来ているが、汚物処理の際に人目に触れてしまう事がある。	汚物処理の際に利用者や来館者の目に触れないように配慮し、気持ちの良い居住空間を作る。	①汚物処理の際には必ず蓋のついたバケツを使用する。②消臭剤や消臭スプレーの活用。	6ヶ月
3	2	施設の立地条件が影響して、ボランティアが集まりにくかったり、近隣の住人との交流がしにくい現状にある。しかし、利用者の状態は以前より平均介護度が軽くなってきているため、もっと活動的に社会と関わり合いを持つ必要がある。	普段の生活の中で、もっと近隣の住人やボランティアとの関わりが自然に持てるようにする。	花みずきの畑を積極的に利用して、近隣の住人やボランティアと一緒に農作物を作る。その作業を通して自然な交流が出来るように支援していく。また、今まで以上に積極的に地域に対して働きかけていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。